別添資料10

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：　2024年　2月　15日　　事業所名　放課後等デイサービス　ぽうわう

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーテンションで個室も作成	勉強部屋・カームダウンコーナー・フリースペースを仕切っています。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者10人に対してスタッフ5～6人	遠足時はスタッフの人数が多くなります
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関は車いす対応	トイレは車いすでは入れず。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎朝のミューティングを行っています。	ミーティングでは一人ひとりが自由に意見を 言い、支援の仕方や活動の進め方等を話し合います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向け評価表を活用し保護者の方の意向の把握に努めています。	保護者の希望の支援をスタッフと考えて取り込んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		子どもたちにブログを読んでもらい感想を聞いています。	子どもたちも見ており、自分から積極的に工作物や発表を楽しんでくれています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討をします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な研修を行っています。	希望者には、移動支援の研修などを受講してもらいガイドヘルパーとしても働いています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		送迎時に報告を行い、また相談も受け付けています。	必要に 応じて利用者が発達センターや医療機関で行った検査結果をお持ちいただき発達状況を把握しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査票の見方の研修を行っている。	医療機関からの発達検査を検討して支援に取り組んでいます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ローテンションで作成	マンネリにならないように交代で考えたり、ネットや本での勉強会もしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		集団活動・遠足を毎月設定しています。	コロナ過で遠足が減少しましたが、野外での感染対策を考量して遠足を続けております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		その瞬間その瞬間の成長に合わせています。	状況に応じて臨機応変で対応しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝ミューティングを行う	30分から60分の会議を行い、支援グッズの作成もしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		帰り送りのスタッフにはグループLINEで共有	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を振り返りとして活用	データ化することで次の支援に利用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング結果を保護者とも共有しています。	児童発達管理者が相談支援の経験もしており、相談支援事業所とも連携しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			リトミック・創作活動・各種セラピー（動物介在・絵画療法）などを専属スタッフでしております。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	児童発達管理責任者が参加するようにし、各機関との情報の共有や支援の方向性を考察し、当施設内での会議で共有しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	児童発達管理責任者が参加するようにし、各機関との情報の共有や支援の方向性を考察し、当施設内での会議で共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ過のため現時点では中止しています。	コロナ前は3カ月に1回の地域開放日で、地域のお子様を招いてのイベントをしております。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			コロナ過のため開催が減少していますが、情報交換をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に情報交換しています。	LINEなどを使い、活動中の写真などの報告をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	○		電話での相談や、ご自宅に訪問しての家庭連携をしています。	コロナ過のため、電話での相談に切り換えています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		気になることがあったら施設側からの連絡をしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ過で今年は不開催でした。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		送迎時に相談対応しています。	緊急時は夜間（22:00まで）でも相談対応しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページやブログで情報発信しております。	子どもから、ブログに載せてと言われるような子ども中心の楽しい活動もしております。
	35	個人情報に十分注意している	○		写真掲載許諾書をいただいています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚障害がある方にはタブレット使っての連絡	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ過で今年は不開催でした。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		子どもも参加できる防災ゲームなど工夫をしています。	マニュアルを作成し、定期的な確認をしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		食料の備蓄	3カ月に1回の防災訓練
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待研修にお開催	支援学校の元教員など、福祉経験者が多数在籍しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	文書にて確認書を作成しています。	現時点では身体拘束が必要な児童はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		おやつ箱にアレルギーファイルをおいています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		定期的な研修を行っています。	